

2023.7.19



# 図書室通信

第92号

図書室

7月12日(水)よりスタート

## 夏休み特別貸出



貸出冊数：1人10冊（もっと借りたい人はご相談ください）

返却期限：9月2日（土）

書店へ行くと、多くの出版社が夏の読書を盛り上げていますね。図書室でもいくつか特集をしています。普段はなかなか忙しくて読書の時間がないという方も、暑くて外に出るのがつらい日は、涼しいお部屋で本を開き、さまざまな世界と出会ってください。  
☆夏休みの開室日と時間は図書室前に掲示します。



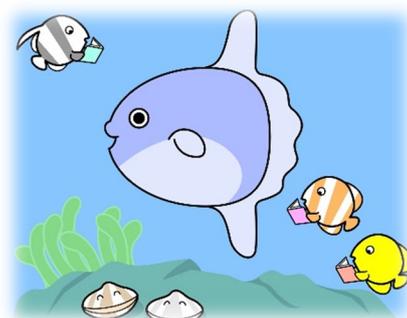
## ご案内

☆高校生直木賞実行委員会主催「トークイベント」「読書会」のご案内を教室掲示しています。**8月19日（土）**東京の文藝春秋本社で行われます。作家の方と直接お話ができる機会です。夏休みのお出かけにいかがですか。詳細・申し込みは図書室まで。東京まで行くのは…という方は、オンラインでも参加可能です。申し込みが必要です。こちらも図書室まで。

☆毎年ご案内していますが、「新潮文庫ワタシの一行コンテスト」対象図書を展示しています。選書の参考に、そして気に入った一行があったらぜひコンテストに応募してみましょう。詳細は図書室まで。

※他にも読書体験記やPOPコンクールなどもあります。

インプットの読書だけでなく、アウトプットに挑戦してみてください。

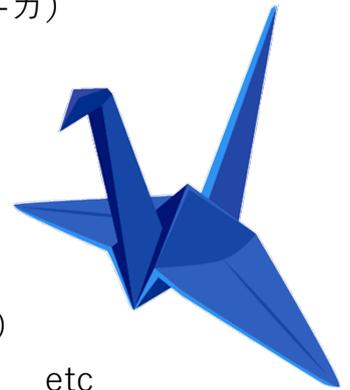


## 📖 戦争と文学

8月は広島・長崎の原爆記念日、終戦記念日とあり、夏は、戦争に思いを寄せる機会が多くあります。文学作品の中で戦争がどのように描かれているのか、戦争中に文学作品がどのように扱われていたのかを知るきっかけになる図書を集めました。文学作品だけではなく、戦争についての図書も展示中



- 『戦争の世界史大図鑑』 R.G.グラント 編著 河出書房新社 (209-グ)  
 『それでも日本人は戦争を選んだ』 加藤陽子 著 朝日出版社 (210-カ)  
 『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬 著 早川書房 (913-ア)  
 『長く高い壁』 浅田次郎 著 角川文庫 (913-ア)  
 『海と毒薬』 遠藤周作 著 新潮文庫 (913-エ)  
 『あんずの木の树下 体の不自由な子どもたちの太平洋戦争』  
 小手鞠るい 著 原書房 (915-コ)  
 『23分間の奇跡』 ジェームズ・クラベル著 集英社文庫 (933-ク)  
 『縞模様パジャマの少年』 ジョン・ボイン 作 岩波書店 (933-ボ) etc



## 📖 情報の取り扱い注意

天災が人災にもなるWeb上の情報 その情報は正しいですか？  
 ネットの著作権 個人情報 いまいちど、確認してください。

- 『その情報はどこから?』 猪谷千香 著 ちくまプリマー新書 (007-イ)  
 『SNS 別著作権入門』 井上拓 著 誠文堂新光社 (021-イ)  
 『フェイクニュースがあふれる世界に生きる君たちへ』 森達也 著 ミツイパブリッシング (070-モ)  
 『SNSの哲学 リアルとオンラインのあいだ』 戸谷洋志 著 創元社 (104-ト)  
 『高校生のためのメディア・リテラシー』 林直哉 著 ちくまプリマー新書 (371-ハ)  
 etc



## 📖 海の生きもの特集

水の中の生き物を見ていると少し涼しさを感じませんか。

- 『日本の美しい水族館』 銀鏡つかさ 著 エクスナレッジ (480-シ)  
 『怪獣学者、クジラを解剖する』 田島木綿子 著 山と溪谷社 (489-タ)  
 『海の辞典』 中村卓哉著 雷鳥社 (748-ナ)  
 『マグメル深海水族館』 梶下聖海 作 新潮社 (726-ウ) etc



夏といえば怪談? 「怖いお話を読んで涼しくなろう特集」

夏といえば辛い物? 「カレーやスパイス特集」

夏といえば冷たいデザート? 「デザートや料理のレシピ特集」なども

展示しています。読む本に迷ったら、ぜひのぞいてみてください。